

【「節分」の日に「恵方巻」登場】

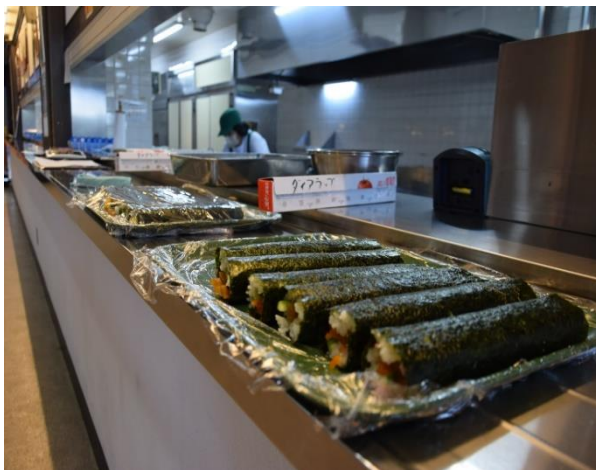
2026/2/3 公開



第一薬科大学では、季節にちなんだ学食が登場します。「節分」である2月3日の日替わり定食は、オリジナルの「恵方巻」でした。

本学では「ひな祭り」の3月3日には「ちらし寿司」、「土用の丑の日」には「うな丼」—といった1年の行事にちなんだメニューや、夏場には納豆やとろろ、オクラなどが入った「ヌルねば定食」などを販売してきました。

恵方巻は発祥については諸説がありますが、いまではすっかり「節分」の日に食べることが定着しています。



本学でも人気で、今年は約250本を用意したそうです。テイクアウト用にパックにしたほか、日替わり定食ではお吸い物が付きました。

この日は朝から学食スタッフが仕込みに入り、酢飯の上に卵焼きやキュウリなどの具材をのせて一本ずつ丁寧に巻いてランチ用に作っていました。

教職員や学生らはおいしそうに恵方巻を味わいながら、ほのぼのと季節を感じていました。